

# 平成29年度 学校自己評価のまとめ

回収総数16名（職員 7名 こども環境科 5名 介護環境科 4名）

## 1 教育理念・目標

		4	3	2	1	領域平均	総平均
学校の理念・目的・育成 人材像	職	5	1	0	0	3.8	3.9 (3.5)
	こ	4	1	0	0	3.8	
	介	4	0	0	0	4.0	
職業教育の明確化	職	6	0	0	0	4.0	3.8 (3.3)
	こ	4	1	0	0	3.8	
	介	2	2	0	0	3.5	
学校の将来構想	職	3	3	0	0	3.5	3.1 (3.0)
	こ	1	2	2	0	2.8	
	介	1	2	1	0	3.0	
学生・保護者への周知	職	1	5	0	0	3.2	3.1 (2.9)
	こ	1	3	1	0	3.0	
	介	2	1	1	0	3.3	
業界のニーズに向けての 方向づけ	職	4	2	0	0	3.7	3.3 (3.3)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	1	3	0	0	3.3	

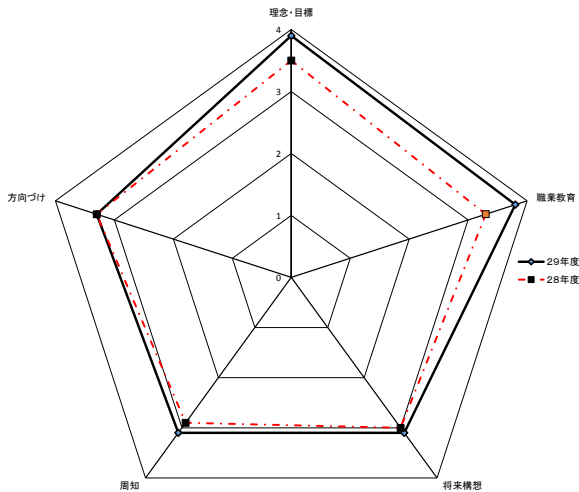
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題（一部改善策）

- 学校の将来構想が周知されていない。創立50周年に向けて、何らかの企画を立案するのによいかも知れない。
- 育成人材像の明確化についてはさらなる検討が必要。
- ほぼ守られていると思う。

・考えられる改善策

○「学校の将来構想」については今後法人理事者からの構想を聞き先生方に伝えていく努力が必要であり、「学生・保護者への周知」についてはガイダンス、保護者説明会を通して周知しており、ウェブ上でも示しているが、更に分かりやすく伝える広報活動が必要と思われる。



## 2 学校運営

		4	3	2	1	領域平均	総平均
目的に沿った運営方針	職	3	2	1	0	3.3	3.5 (3.4)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	4	0	0	0	4.0	
運営方針に沿った事業計画の策定	職	3	2	1	0	3.3	3.4 (3.4)
	こ	1	4	0	0	3.2	
	介	3	1	0	0	3.8	
運営組織・意思決定機能の明確化・有効に機能しているか	職	2	3	1	0	3.2	3.1 (2.8)
	こ	1	2	2	0	2.8	
	介	2	2	0	0	3.5	
人事・給与の規定の整備	職	1	3	2	0	2.8	2.9 (3.0)
	こ	1	2	2	0	2.8	
	介	1	3	0	0	3.3	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムの整備	職	2	3	1	0	3.2	3.0 (2.7)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	0	4	0	0	3.0	
業界・地域社会に対するコンプライアンス整備	職	2	4	0	0	3.3	3.2 (3.2)
	こ	0	5	0	0	3.0	
	介	1	3	0	0	3.3	
教育活動における情報公開	職	3	3	0	0	3.5	3.4 (3.5)
	こ	1	4	0	0	3.2	
	介	2	2	0	0	3.5	
業務の効率化	職	2	4	0	0	3.3	2.9 (2.9)
	こ	0	2	3	0	2.4	
	介	1	2	1	0	3.0	

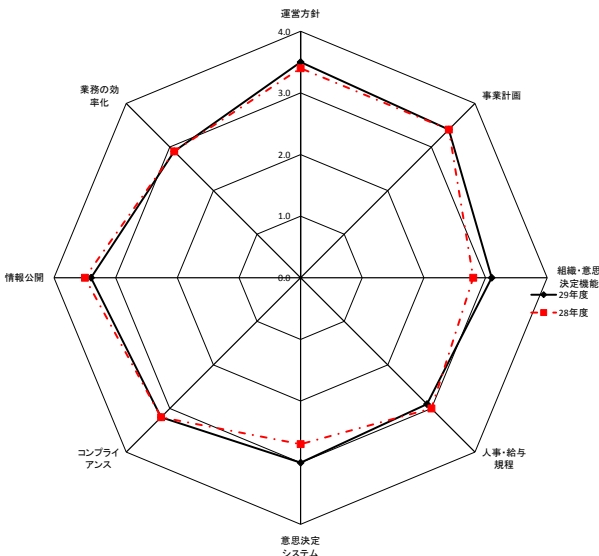
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題（一部改善策）

- 各種規定が閲覧できる状況でないため整備されているのか、有効に機能しているのかが不明確である。
- 情報システム化による業務の効率化はまだまだ不十分。情報システムの構築からスタートする。
- 過年度の資料等が整理され引き出しやすい環境があればありがたい。
- 少人数の割に整備されてきた。

・考えられる改善策

○運営方針・事業計画・情報公開については高い評価を得ているが、評価が低い運営組織・意思決定機能・業務の効率化については昨年と同じ項目でもあり、整備を急ぐ必要がある。



3 教育活動

(1)教育課程

		4	3	2	1	領域平均	総平均
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針の策定	職	4	2	0	0	3.7	3.4 (3.4)
	こ	1	4	0	0	3.2	
	介	1	3	0	0	3.3	
教育理念・育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保	職	2	4	0	0	3.3	3.3 (3.1)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	0	4	0	0	3.0	
学科等のカリキュラムの体系的編成	職	3	3	0	0	3.5	3.3 (3.2)
	こ	0	5	0	0	3.0	
	介	2	1	1	0	3.3	
キャリア教育・実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発	職	3	3	0	0	3.5	3.3 (3.5)
	こ	2	2	1	0	3.2	
	介	1	3	0	0	3.3	
関連分野の企業・関係団体や業界団体との連携によるカリキュラムの作成・見直し	職	3	3	0	0	3.5	3.4 (3.4)
	こ	2	2	1	0	3.2	
	介	2	2	0	0	3.5	
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられている	職	3	3	0	0	3.5	3.5 (3.6)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	2	2	0	0	3.5	

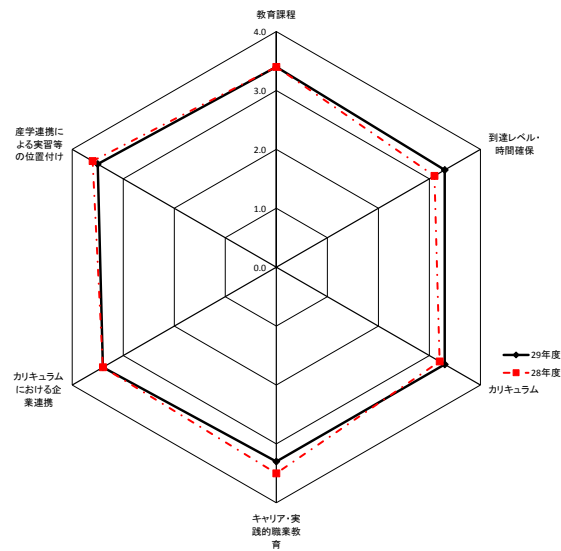
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

●数々の試行がされて将来が楽しみである。  
●教育課程委員会でご意見をいただいているが、文科省、厚労省の規定もあり、委員のメンバーに規定を理解して頂く機会を持たず、カリキュラムの作成についての連携がしにくい。平成31年度に大きく教育課程を変更するために、教育課程について具体的に検討する場を設けられないか。文科省が推奨するカリキュラムマップ作成にも連携していただけたら良いと考える。

・考えられる改善策

○概ね良い評価になっているが、こども環境科でH31に教育課程の大幅な見直しが迫ってきているので、叡智を結集してより良いカリキュラムの作成等に協力していきたい。



(2)指導・評価

		4	3	2	1	平均	総平均
授業評価の実施・評価体制	職	2	4	0	0	3.3	3.5 (3.3)
	こ	4	1	0	0	3.8	
	介	2	2	0	0	3.5	
職業教育に対する外部関係者からの評価	職	2	4	0	0	3.3	3.3 (3.2)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	2	1	1	0	3.3	
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準の明確化	職	2	4	0	0	3.3	3.2 (2.9)
	こ	1	3	1	0	3.0	
	介	2	1	1	0	3.3	
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけ	職	2	4	0	0	3.3	3.3 (3.3)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	1	2	1	0	3.0	

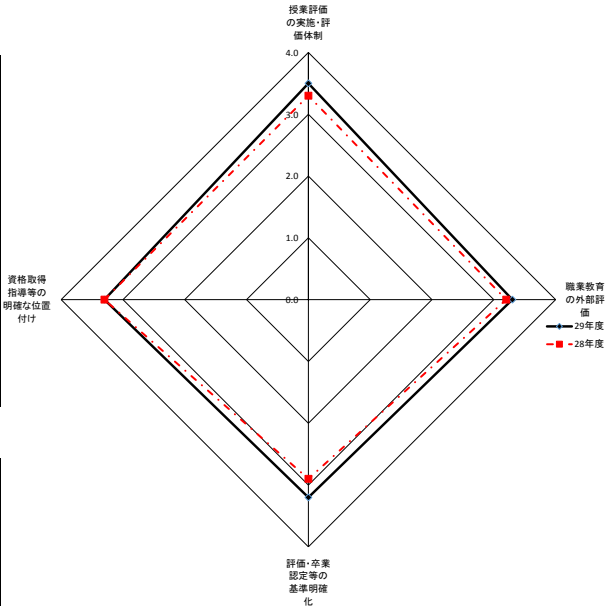
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

●学生数が少ないため効果が現れにくい。  
●授業の出席不足等で単位認定が危ぶまれる学生が毎年存在し、判定会議で議論になることが多い。やむを得ない事情とそうでない事情とを線引きして卒業判定できると良い。学生のしおりと学則の出席規定があつておらず、しおりでは演習5分の4以上の出席とあるが、学則では3分の2以上の出席である。学則の規定をしおりにも謳うべきである。  
●授業評価はしているが、教育のあり方に反映させる体制が未整備。

・考えられる改善策

○共通理解も少し図られ、前年度に較べる程度良い評価になっているが、成績評価・単位認定・進級・卒業認定の基準の明確化については更なる改善が必要と思われる。



### (3)教員・研修

		4	3	2	1	平均	総平均
人材育成目標の達成に向け、授業を行える要件を備えた教員確保	職	2	4	0	0	3.3	3.2 (3.1)
	こ	1	1	3	0	2.6	
	介	3	1	0	0	3.8	
関連分野の業界などとの連携において、優れた教員を確保する等のマネジメント	職	4	2	0	0	3.7	3.5 (3.1)
	こ	1	4	0	0	3.2	
	介	2	2	0	0	3.5	
関連分野における先進的知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取り組み	職	2	4	0	0	3.3	3.3 (3.0)
	こ	2	2	1	0	3.2	
	介	1	3	0	0	3.3	
職員の能力開発のための研修	職	1	5	0	0	3.2	2.9 (3.0)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	1	1	2	0	2.8	

( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

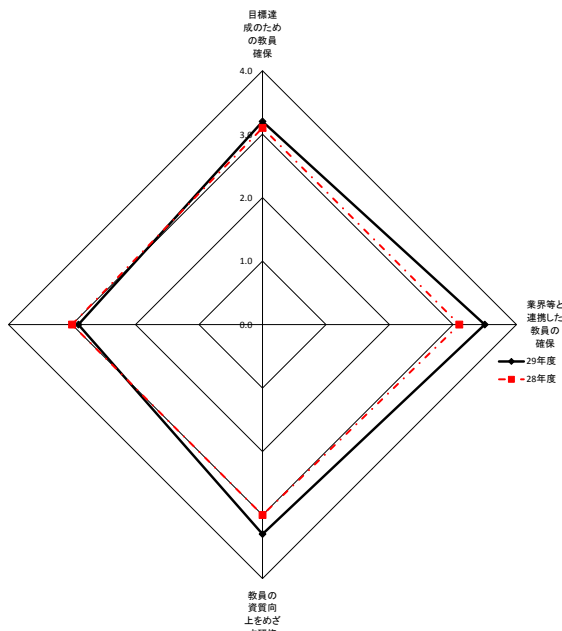
- 常勤(フルタイム)職員の補充が必要(学生の個別支援ができていない)
- 非常勤職員に頼っている部分があり、オーバードクターにとっても魅力的な職場となっていないことが課題。長期的に働けるよう待遇改善を図るとともに、教員がやりたいと思うことをやれる環境を醸成して頂きたい。
- 研修は自己努力であることは承知しているが、業務が多く遠方の研修に行きづらい。業務の削減を図れないか。研修を1つ受けると1ポイントとなり、何ポイントか溜まると表彰されるなど、外発的動機づけとなるが、研修を受けることを評価する仕組みも必要ではないか。学校独自の課題の解決に資する研修を受けたい。
- 要件を備えた教員の確保は必要であると考える。
- より良い授業を目指して教員の努力が伺える。

・考えられる改善策

○研修は教員の職責の一つであり、たゆまぬ研修が大変重要である。そのために、研修会への参加の機会の拡大を考えていかなければならない。限られた研修費の有効活用も是非お願いしたい。

○専任教員全員の公開授業を行って2年目になるが、授業のマンネリ化を防ぐとともに、お互いを参観し合うことにより、刺激を受け、より授業改善が行われていることを評価したい。

職員の能力向上をめざす研修



### 4 学修成果

		4	3	2	1	平均	総平均
就職率の向上	職	3	3	0	0	3.5	3.5 (3.5)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	2	2	0	0	3.5	
資格習得率の向上	職	3	3	0	0	3.5	3.5 (3.3)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	1	3	0	0	3.3	
退学率の軽減	職	1	5	0	0	3.2	3.1 (3.1)
	こ	1	3	1	0	3.0	
	介	0	4	0	0	3.0	
卒業生・在校生の社会的活躍・評価の把握	職	4	2	0	0	3.7	3.4 (3.2)
	こ	2	2	1	0	3.2	
	介	1	3	0	0	3.3	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用している	職	1	5	0	0	3.2	3.0 (3.0)
	こ	1	3	1	0	3.0	
	介	0	3	1	0	2.8	

( )は28年度平均

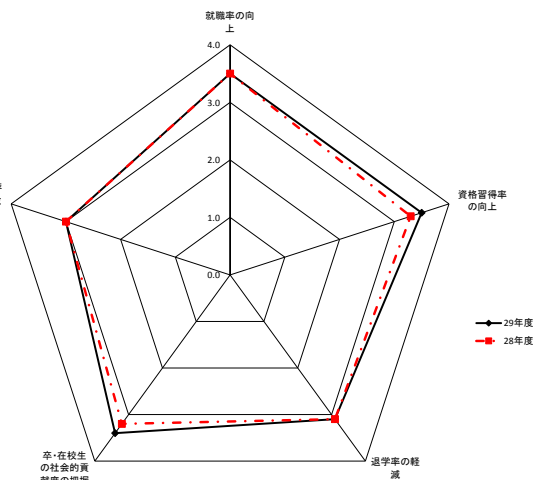
・評価によって表出した課題(一部改善策)

- 卒業生の動向が把握できていない。同窓会が無く、古くからの卒業生の状況がわからない。キャリア担当(教員以外)を置き、チェックする必要があるだろうか。
- ゆとりがあれば、教室とは異なる学生が語らう場所があればと思う。直接つながるものではないが、間接的には学修成果にもつながると思う。
- 退学率についてはいかんともしがたい状況であるが、先生方も努力していることが伺える。

・考えられる改善策

○やむを得ず退学を余儀なくする学生も数名いるが、学生の経済的な事由やその他についてアンテナを高く張って、早めに指導・助言・相談できる体制を構築したい。

卒業後の社会的貢献度の把握



5 学生支援

(1) 支援体制

		4	3	2	1	平均	総平均
進路・就職に関する支援体制の整備	職	3	3	0	0	3.5	3.4 (3.6)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	1	3	0	0	3.3	
学生相談に関する体制の整備	職	2	4	0	0	3.3	3.3 (3.6)
	こ	1	4	0	0	3.2	
	介	1	3	0	0	3.3	
学生に対する経済的支援体制の整備	職	1	4	1	0	3.0	2.9 (3.2)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	0	4	0	0	3.0	
学生の健康管理を担う組織体制	職	1	4	1	0	3.0	2.9 (3.1)
	こ	0	2	3	0	2.4	
	介	2	2	0	0	3.5	
課外活動に対する支援体制	職	2	4	0	0	3.3	3.1 (3.1)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	2	0	2	0	3.0	
学生の生活環境への支援	職	1	3	2	0	2.8	2.7 (3.0)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	0	3	0	1	2.5	

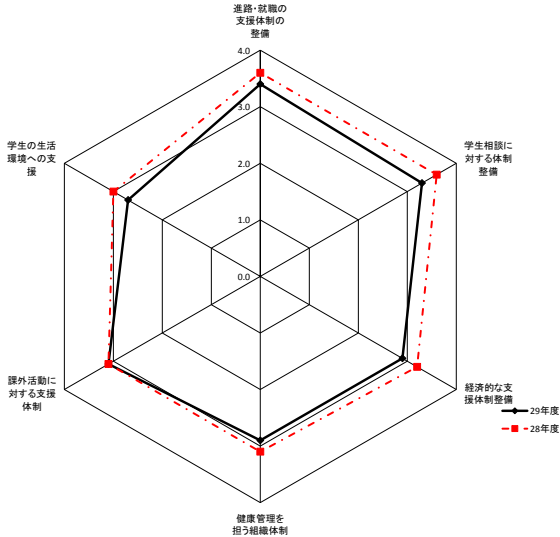
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

- 先生方の努力が伺える。
- 就職に関する支援が各教員の個人的資質に負うところが大きい。就職に関する組織を作ると良い。
- 衛生に対しての環境が配慮されていない部分もあり、改修や新設が望まれる。
- 学生に対する経済的な支援の必要性は強く感じる。
- 看護師資格を持った教員はいるが、臨床心理士資格を持った教員がいない。心の問題を抱えた学生も多いため、週に1回でも良いので、来校相談して頂けないだろうか。
- 授業料未納で学校に来られない学生もみられるため、経済的な支援体制の充実を求める。介護の修学資金を出して頂くべく施設にお願いしているので、成果が出ることを期待する。

・考えられる改善策

○学生に対する生活相談、教育相談、就職相談等、学科やTAに負担をかけている部分が多く見られる。改善策として出来る限り組織を生かすことを考え、不足している分掌については新しく立ち上げるなど体制作りをしていきたい。



(2) 連携体制

		4	3	2	1	平均	総平均
保護者との適切な連携	職	1	4	1	0	3.0	3.3 (3.4)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	2	1	1	0	3.3	
卒業生への支援体制	職	1	4	1	0	3.0	2.9 (3.0)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	0	3	1	0	2.8	
社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備	職	2	4	0	0	3.3	3.3 (3.1)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	0	4	0	0	3.0	
高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組	職	4	2	0	0	3.7	3.5 (3.4)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	1	3	0	0	3.3	

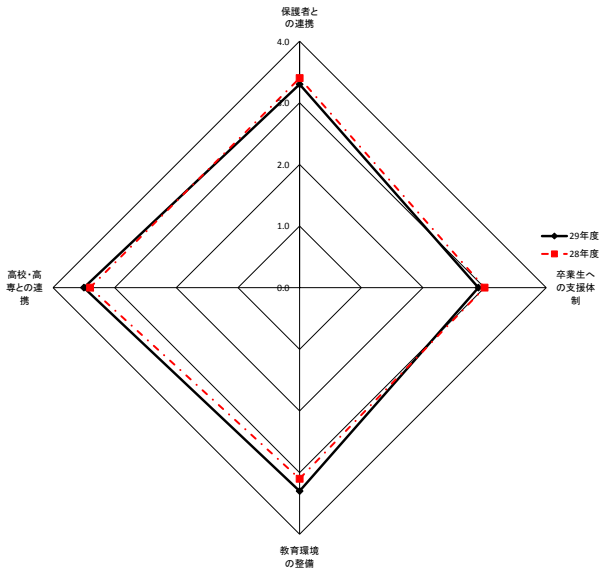
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

- 先生方の努力が伺える。
- 卒業生への支援を個々の教職員に頼っている。組織としての支援体制が必要と思う。

・考えられる改善策

○中学校、高校、短大、大学とは今年度も連携してキャリア教育、職業教育の取り組みを行っている。今後も連携を進めていきたい。



6 教育環境

		4	3	2	1	平均	総平均
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備できている。	職	1	2	3	0	2.7	2.5 (2.5)
	こ	0	2	3	0	2.4	
	介	0	2	2	0	2.5	
学内外の実習施設は十分な教育体制を整備している。	職	2	3	1	0	3.2	3.1 (3.3)
	こ	2	0	3	0	2.8	
	介	1	3	0	0	3.3	
インターンシップ、海外研修等について体制の整備	職	1	3	2	0	2.8	2.9 (2.7)
	こ	0	4	1	0	2.8	
	介	0	4	0	0	3.0	
防災に対する体制の整備	職	1	4	1	0	3.0	2.7 (2.6)
	こ	1	1	2	1	2.4	
	介	0	3	0	1	2.5	

( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

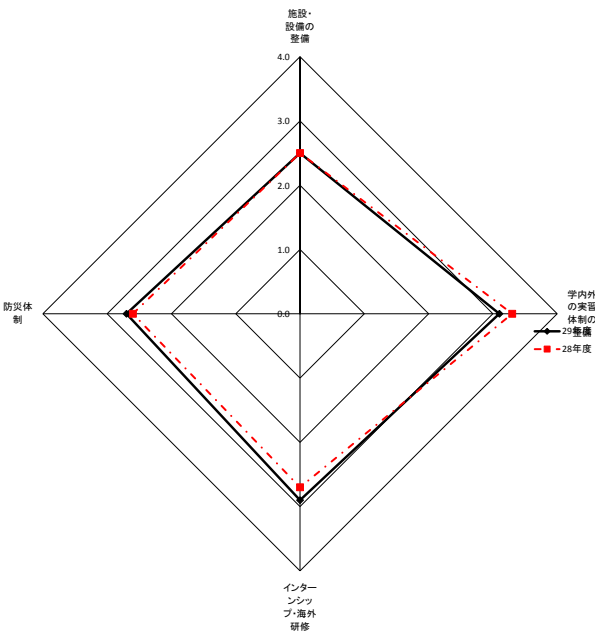
2.5

- 教室のどのクラスでも映像が使える環境を設定してほしい。
- 雨漏れのため、天井を剥がした教室があったり、AV、PC、放送関係の故障への対応や更新の問題など、課題が山積している。
- 校舎の老朽化、設備の不十分さが目立ち様々な箇所に不都合が起きている。
- 施設の老朽化、AV機器やスクールバスの更新を
- 防災関係の体制が不十分である。早急に対応を
- ピアノの調律を定期的の実施してもらいたい。
- 演習等が重なり場所の選定が難しくなる。
- 余裕があれば集団での宿泊研修も。

・考えられる改善策

○全評価科目の中でこの教育環境の部分が他のどの評価よりも低い。施設設備の老朽化に伴うものではあるが、補修・改善などを短期・中長期に分類し、緊急度の高いものから進めていく努力をして、学生が学びやすい学習環境の改善を少しずつ進めていきたい。

○防災体制整備について、優先順位を考え改善を図っていきたい。



7 学生の受け入れ募集

		4	3	2	1	平均	総平均
学生の募集活動が適正に行われている。	職	2	4	0	0	3.3	3.5 (3.3)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	2	2	0	0	3.5	
学生募集活動において、教育効果は正確に伝えられている。	職	2	4	0	0	3.3	3.4 (3.1)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	1	3	0	0	3.3	
学生募集活動における組織整備及び年間計画が明らかになっている。	職	1	5	0	0	3.2	3.1 (3.1)
	こ	2	1	2	0	3.0	
	介	0	4	0	0	3.0	
学納金が妥当なものになっている。	職	3	3	0	0	3.5	3.3 (3.4)
	こ	1	3	1	0	3.0	
	介	1	3	0	0	3.3	

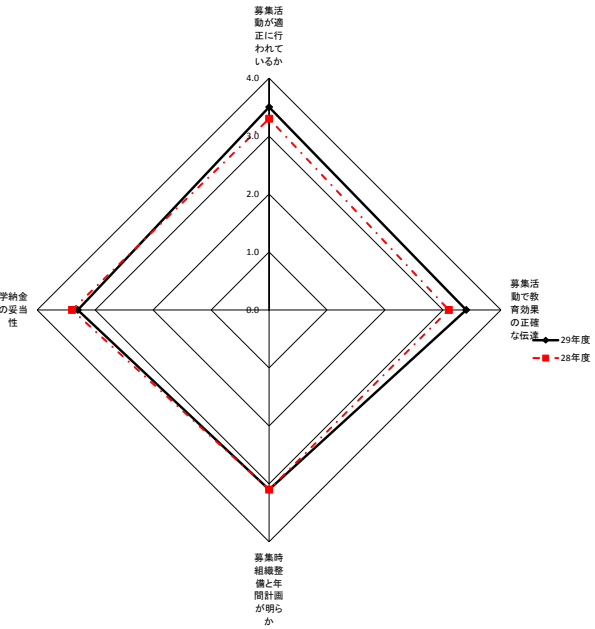
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

- 次年度へ向け、ウェブ広報の強化、学校ラインのフォロワー数増加を図るため、動画活用、ウェブ授業公開、連携企業広報など新たな企画を考えていきたい。
- 忙しい中で頑張っているように見える。

・考えられる改善策

○色々な工夫をしながら学生募集を進めてきているが、効果がなかなか現れてはいない。学生などからの意見も聞き入れながら、更なる啓蒙、広報に工夫を加えて努力していきたい。



8 財務

		4	3	2	1	平均	総平均
中長期的に学校の財政基盤は安定している。	職	1	3	2	0	2.8	2.8 (2.6)
	こ	1	1	3	0	2.6	
	介	0	4	0	0	3.0	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	職	1	3	2	0	2.8	2.8 (2.8)
	こ	1	2	2	0	2.8	
	介	0	3	1	0	2.8	
財政について会計監査が適正に行われている。	職	2	3	1	0	3.2	3.1 (3.4)
	こ	1	2	2	0	2.8	
	介	1	3	0	0	3.3	
財務情報公開の整備はできている。	職	3	2	1	0	3.3	3.3 (3.3)
	こ	3	2	0	0	3.6	
	介	1	2	1	0	3.0	

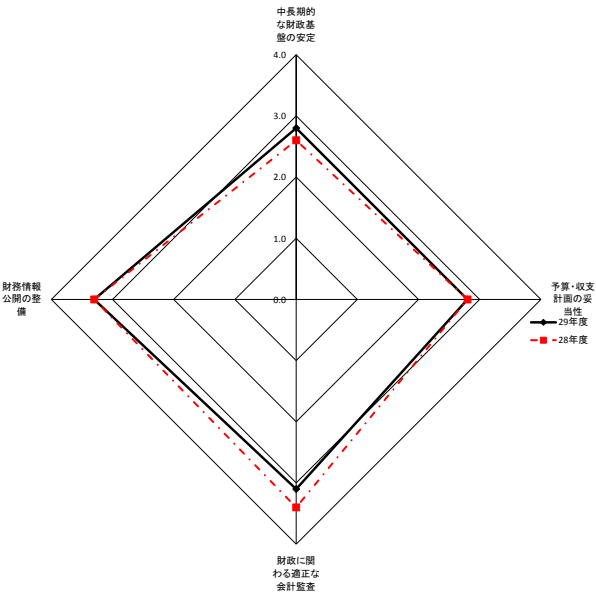
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

●ホームページで公開されているが、職員会議で状況を説明すると職員間の理解度が上がると思う。  
●学校の設備改修が追いついていない状態であり、財政基盤への不安がある。中長期的な見通しについて説明があると良い。

・考えられる改善策

○財政基盤や予算・収支計画について評価が低く、不安感が出ている。法人側からの詳しい説明が必要であろう。



9 法令の遵守

		4	3	2	1	平均	総平均
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	職	4	2	0	0	3.7	3.6 (3.3)
	こ	4	0	1	0	3.6	
	介	2	2	0	0	3.5	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	職	3	3	0	0	3.5	3.5 (3.4)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	2	2	0	0	3.5	
自己評価の実施と問題点の改善を行っている。	職	3	3	0	0	3.5	3.3 (3.1)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	1	2	1	0	3.0	
自己評価結果の公開	職	4	2	0	0	3.7	3.5 (3.1)
	こ	2	3	0	0	3.4	
	介	1	3	0	0	3.3	

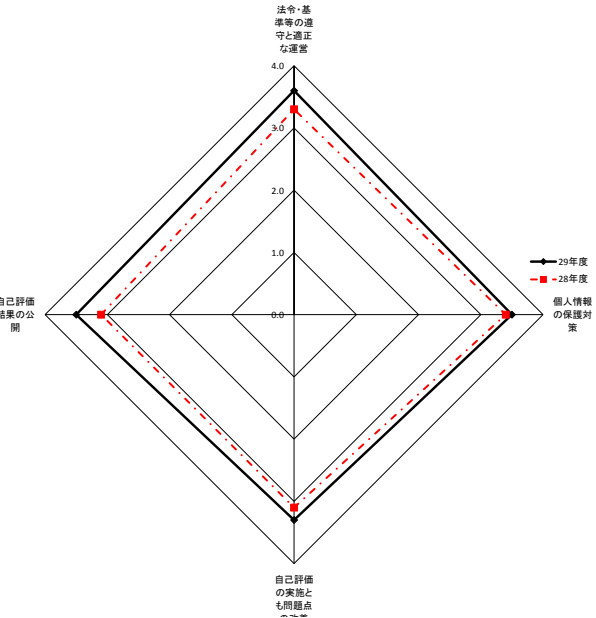
( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善策)

●校長を中心に頑張っている。  
●本校は変形労働時間制をしいているが、支障が無ければ、通常の形に戻せないか検討をお願いしたい。

・考えられる改善策

○毎年、自己評価を実施し、昨年からは話し合いだけでなく、紙ベースで学校関係者評価を実施している。今後評価のための評価に終わらないようにその活用や改善を図りながら更なる充実を目指していきたい。



10 社会貢献・地域貢献

		4	3	2	1	平均	総平均
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	職	5	2	0	0	3.7	3.8 (3.7)
	こ	4	1	0	0	3.8	
	介	3	1	0	0	3.8	
学生のボランティア活動を奨励、支援している。	職	5	2	0	0	3.7	3.8 (3.8)
	こ	5	0	0	0	4.0	
	介	3	1	0	0	3.8	
地域に対する公開講座等を積極的に実施している。	職	5	1	1	0	3.6	3.6 (3.9)
	こ	4	1	0	0	3.8	
	介	2	2	0	0	3.5	
教育訓練の受託等を積極的に実施している。	職	6	1	0	0	3.9	3.7 (3.9)
	こ	4	1	0	0	3.8	
	介	1	3	0	0	3.3	

( )は28年度平均

・評価によって表出した課題(一部改善)

●教育訓練など更に拡大して欲しい。

・考えられる改善策

○特に学生ボランティア活動も活発に行われており、今後も推進していきたいと考える。また、地域に対する公開講座も「リカレント教育」「幼児教育」「自然再発見シリーズ」「講演会」「学修成果発表会」等で積極的に実施しており、今後も継続していきたい。

・全体的に

○今年度の「学校自己評価」は平成28年度と比較すると概ね評価が上回っているが、母体数が少ないので1名でも増減すると数値は変化する、その数値に一喜一憂をしてはならない。評価の低い項目については、あるいは貴重な意見については、具摺に向かい合っ、改善を図っていかねばならないし、法人、理事者とも話し合いの場をもって、解決する努力が必要である。評価のための評価とならない様な学校評価を今後も継続していきたい。

